

各位

平成28年6月1日改定・実施の日本卓球ルール（改定概要）

公益財団法人 日本卓球協会

平成28年1月1日の国際卓球連盟のルール改定を受け、国内のルール改定を行います。また、一部国内解釈等の文言修正も行います。

- (注)・波線のアンダーラインは、国際卓球連盟が国際ルール変更をした部分を示す。
・二重線のアンダーラインは、日本卓球協会が国際ルール改定と同時に6月1日付けで修正し、追記した部分を示す。
・※は、条文ではなく今回の変更に伴う説明。

1. 条文

第2章 競技ルール

2.2.2 競技用服装

2.2.2.1 競技用服装とは、半袖シャツまたはノースリーブシャツ、ショーツまたはスカートまたは上下一体のスポーツ用服装、くつ下及び競技用シューズから成るものとする。従ってトレーニングウェアの一部または全部を着用して、定められた以外の服装で競技することはできない。ただし、審判長の許可があった場合はこの限りではない。

※（文言の修正：「通常」を削除）。

2.2.2.7（項目の削除）

2.2.4 ラケットコントロール

2.2.4.7 ラケットコントロール検査は、通常マッチ前に行われるものとする。但し、競技者がマッチ前検査にラケットを提出しなかった場合にはマッチ終了後に行われる。

※（文言の修正・削除）

2.2.4.8 マッチ前のラケットコントロール検査に合格しなかったラケットは、そのマッチでは使用できないので、別のラケットを使用しなければならない。その使用したラケットは、マッチ終了後に検査されることになるが、マッチ前に時間がある場合にはすぐに検査してもよい。時間がなければマッチ終了後に検査されることになる。もしマッチ後のラケットコントロール検査に合格しなかった場合、そのラケットを使用した競技者にペナルティーが科せられる。

2.2.5 広告とマーキング

2.2.5.2 競技領域の側面のフェンスにつけるLED（発光ダイオード）及び類似した装置の広告を除いて、競技領域内のどのような場所でも、蛍光性、発光性または光沢性の色を使用してはならず、背景色は暗色のままでなければならない。

2.2.5.2.2 フェンスにつけるLED及び類似した装置の広告は、マッチを通して競技者の邪魔にならないような明るさでなければならない、ボールがインプレーの間は変えてはならない。

2.2.5.2.3 LED及び類似した装置の広告は、JTTAの許可がなければ使用することはできない。

2.2.5.4（項目の削除）

2.3 競技役員

2.3.1 審判長

2.3.1.2.9 競技者がマッチ中に、トレーニングウェアを着用することの可否決定。

2.5 ペナルティー

2.5.1 アドバイス

2.5.1.3 競技者は、ゲームとゲームの間の休憩時間、あるいは認められた競技の中断時間にのみアドバイスを受けることができるが、練習時間終了時とマッチ開始の間はアドバイスを受けることはできない。アドバイスを与えることを認められた者であっても、このほかの時間にアドバイスをした場合、主審はイエローカードを掲げ、これ以上そのような行為が続けば競技領域から遠ざけられることになる旨、その者に対して警告する。

※（文言の修正：「または組」を削除）

ラージボール卓球ルール

【サービス】

第7条 サーバーはフリーハンドの手のひらを開き、その上につかむことなく自由に転がる状態でボールをのせ、静止させる。この状態からサービスは開始される。

※（文言修正：「平らにし」を削除）

2. 公布年月日

平成28年4月1日

3. 改定年月日

平成28年6月1日

4. その他

※2.5.1.3 国際卓球連盟が2016年10月1日適用として改定したアドバイスに関するルールは、日本卓球協会理事会では現在適用を保留としています。

※2.5.2.8 国際卓球連盟が改定した懲罰委員会に関するルールは、国内ルールとの整合性をとるため現在適用を保留としています。

以上